

令和元年度 科目名 (家庭総合ー2)

1 対象年次、単位数、使用教科書

2年次～4年次(必修) 2単位

教科書：家庭総合 パートナースhipでつくる未来(実教出版)

2 科目の目標

どのような生活を送り、どのような家族をつくりたいのか、自ら考え判断できる、他と共存できるような力の育成を目指す。

3 評価規準(何を評価するか)

衣服の機能と繊維の種類・特徴について理解する。

衣服を適切に管理することができるようにする。また、衣服の基本的な構成について理解する。

人と住まいのかかわりについて考える。健康的で安全な住空間を形成するために必要な知識を身につける。

消費者としての自覚を持ち、消費生活に必要な知識を習得するとともに、環境を考慮にいたした消費行動ができる。

4 評価基準(どんな方法で評価するか)

レポートの評価規準をもとに、5段階で総合的に評価を行う。総合的な評価が1の場合、再提出とする。再提出により合格した場合の評価は3を基本とする。なお、上記評価規準のいずれかの評価が極めて低い場合は、再提出とすることがある。その場合、再提出により合格した場合の評価は3以上とする。

5 試験範囲と試験による評価基準

R1～R3の範囲で7月試験、R4～R6の範囲で10月試験を実施。なお、29点以下については再試験とする。

再試験を繰り返してもなお基準点(30点)に達しない場合は単位認定しない。

6 スクーリングの目標・内容・計画

スクーリングは、生徒の質問に個別に対応する。家庭総合ー2では、家庭と社会環境・生活環境とを関係づけながら自ら考え、自分の生活をデザインする力を修得できるように指導する。また、選択科目「フードデザイン」「生活と福祉」「子どもの発達と保育」につなぐ興味や関心をいあくような発展的指導をする。

シラバス(学習内容、年間指導計画および評価規準・評価基準)

R	項目	内容	教科書	時期
1	人と衣服のかかわり 衣服の機能 衣服の素材を見てみよう	織物と編み物の違い、繊維の種類と繊維製品の加工方法について	140～ 151	4月 下旬
2	衣生活の管理 衣生活と資源・環境 すべての人が快適な衣生活を 衣服をつくろう	洗剤の成分や汚れが落ちる仕組みについて 衣服の構成について	152～ 177	5月 中旬
3	人と住まいのかかわり 住まいと住まいの文化 住まいを計画する 健康的な住まい環境 安全な住まい環境	生命誕生のしくみや胎児の発育と健康管理の重要性について	178～ 195	6月 月上旬
4	これからの住まいを考える 消費行動と意思決定 社会の変化と消費生活	子どもの発達と生活の特徴 子どもの食生活と健康との関連について	196～ 211	7月 月上旬
5	社会の変化と消費生活 消費者の権利と責任	子どもと福祉、生活空間の特徴について	209～ 215	8月 月下旬
6	持続可能な社会環境 経済のしくみを知る <small>ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動</small>	健康で安全かつ快適な住まい方や住居管理の必要性について 家庭生活から課題を見つけ、改善しようとする態度や問題意識について	216～ 241	9月 月中旬